

令和8年度 第2回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：061.東アジア文学・言語論

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

Ⅲ 次の設問に全問答えなさい。

問一 次の二首について解釈をした上で、その課題について述べなさい。

天皇、蒲生野に遊獵する時に、額田王の作る歌

あかねさす 紫野行き 標野行き 野守は見ずや 君が袖振る (万葉集巻一・二〇)

皇太子の答ふる御歌「明日香宮に天下治めたまふ天皇、諡を天武天皇といふ」

紫の にほくる妹を 憎くあらば 人妻ゆゑに 我恋ひめやも (万葉集巻一・二二)

紀に曰く、「天皇の七年丁卯の夏五月五日、蒲生野に縦獵す。ここに、大皇弟・諸王・内臣また群臣、皆悉従ふ」といふ。

問二 日本語の形容動詞について知るところを述べなさい。

Ⅳ 次の設問に全問答えなさい。

問一 日本古典文学における隨筆の歴史について、知るところを述べなさい。

問二 日本古典文学における古注釈の意義について、例を挙げて論述しなさい。

Ⅴ 次の設問に全問答えなさい。

問一 日本近代文学の研究方法について例を挙げて説明し、その長所と短所を述べなさい。

問二 日本近代文学における幻想小説について、例を挙げて説明しなさい。

令和 8 年度 第 2 回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：061.東アジア文学・言語論

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字の I、II……）ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

中国語学・中国古典文学・中国語圏近現代文学

VI～VIIIを解答しなさい。ただし、いずれの解答も設問番号（VI～VIII）ごとに別の解答用紙を用い、日本語により解答しなさい。

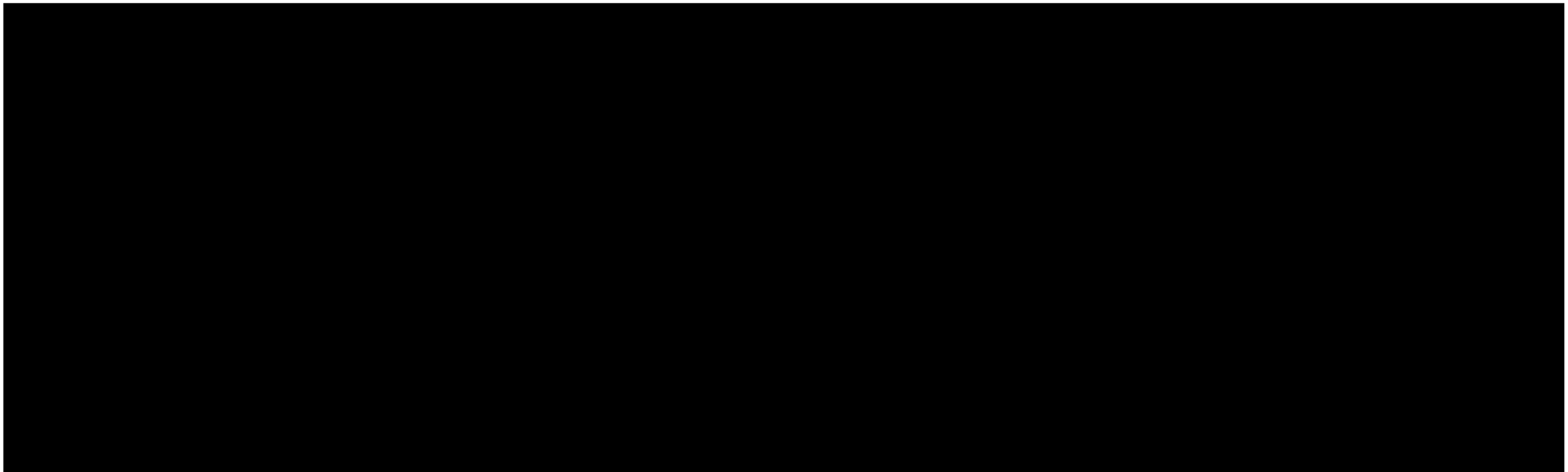
VI. 次の問 1・問 2 を解答せよ。

問 1. 次の文章の下線部を日本語に訳せ。

士君子之處世，貴能有益於物耳，不徒高談虚論，左琴右書，以費人君祿位也。國之用材，大較不過六事：一則朝廷之臣，取其鑒達治體，經綸博雅；二則文史之臣，取其著述憲章，不忘前古；三則軍旅之臣，取其斷決有謀，強幹習事；四則藩屏之臣，取其明練風俗，清白愛民；五則使命之臣，取其識變從宜，不辱君命；六則興造之臣，取其程功節費，開略有術，此則皆勤學守行者所能辨也。人性有長短，豈貴具美於六塗哉？但當皆曉指趣，能守一職，便無媿耳。

吾見世中文學之士，品藻古今，若指諸掌，及有試用，多無所堪。居承平之世，不知有喪亂之禍；處廟堂之下，不知有戰陳之急；保俸祿之資，不知有耕稼之苦；肆吏民之上，不知有勞役之勤，故難可以應世經務也。晉朝南渡，優借士族；故江南冠帶，有才幹者，擢為令僕已下尚書郎中書舍人已上，典掌機要。其餘文義之士，多迂誕浮華，不涉世務；纖微過失，又惜行捶楚，所以處於清高，蓋護其短也。

問 2. 全文を日本語に訳せ。



令和8年度 第2回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：061.東アジア文学・言語論

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

VII. 次の(A)(B)(C)のうち、中国語学を専攻する者は(A)を、中国古典文学を専攻する者は(B)を、中国語圏近現代文学を専攻する者は(C)を選択し、解答せよ。

(A) 中国語史における代詞体系の変化について、知るところを述べよ。

(B) 次の詩を解釈し、作者について知るところを述べよ。

陳師道「春懷示鄰里」

斷牆著雨蝸成字，老屋無僧燕作家。剩欲出門追語笑，却嫌歸鬢逐塵沙。
風翻蛛網開三面，雷動蜂窠趁兩衙。屢失南鄰春事約，只今容有未開花。

(C) 俞平伯の具体的な作品を一つ取り上げ、そのテーマと特徴を分析せよ。

VIII. 次の用語・固有名詞から五項目を選んで、それぞれ知るところを述べよ。各解答の最初に、選択した項目の番号を明記すること。

- | | | | |
|--------|-------------|---------|-------|
| ①諧声系列 | ②深層構造 | ③状態詞 | ④三十字母 |
| ⑤「帰田賦」 | ⑥姚合 | ⑦『滄浪詩話』 | ⑧歌行 |
| ⑨創造社 | ⑩『朝花夕拾』(魯迅) | ⑪『歌謡週刊』 | ⑫金庸 |